

## 令和5年度 橋梁点検箇所一覧

番号	橋梁番号	橋梁名	路線番号	町道名 (所在地)	判定区分	橋長	幅員 (全幅員)	架設年度	備考
1	05	おかべつづがはし 岡別府橋	392	岡別府原田線 (大崎町岡別府)	Ⅱ	30.5 m	5.0 m (6.2 m)	1994年	G2桁及び床版に乾燥収縮が原因のひびわれが確認できた。平成30年定期点検時より進行はしていないが、新規損傷でG3桁及び横桁にうきが確認できた。現時点では道路橋の機能に支障は生じていない。ただし、今後損傷が進行する可能性があるため、予防保全の観点よりひびわれ補修等の措置を講ずることが望ましいと判断し、判定区分Ⅱと評価した。
2	06	たにぎこばし 谷迫橋	110	仮宿下原線 (大崎町仮宿)	Ⅱ	40.0 m	10.5 m (11.5 m)	2000年	主桁及び横桁に複数本のひびわれが確認でき、進行も確認できたが、現時点では道路橋の機能に支障は生じていない。ただし、今後損傷が進行すると道路橋の機能に支障が生じるため、予防保全の観点よりひび割れ補修工等の措置を講ずることが望ましいと判断し、判定区分Ⅱと評価した。前回点検時に確認できた、路面の凹凸は補修が行われていた。
3	19	てんしばし 天子橋	324	神領益丸線 (大崎町横瀬)	Ⅱ	38.3 m	3.6 m (4.4 m)	2007年	主桁、横桁に乾燥収縮によるひびわれが確認できたが、現時点では道路橋の機能に支障は生じていない。ただし、今後損傷が進行する可能性があるため、予防保全の観点よりひびわれ補修工等の措置を講ずることが望ましいと判断し、判定区分Ⅱと評価した。
4	39	まきのうちばし 牧之内橋	371	牧之内萩原線 (大崎町永吉)	Ⅱ	5.5 m	5.2 m (6.0 m)	1975年	RC床版の両側にRC桁が拡幅された橋梁である。A1側の橋台に広範囲のうきが確認できたが、現時点では道路橋の機能に支障は生じていない。ただし、今後損傷が進行すると道路橋の機能に支障が生じる可能性があるため、予防保全の観点より断面修復工等の措置を講ずることが望ましいと判断し、判定区分Ⅱと評価した。
5	47	だいにかりやがたにばし 第二仮屋ヶ谷橋	414	仮屋ヶ谷松ヶ鼻線 (大崎町野方)	Ⅰ	5.5 m	4.0 m (4.6 m)	1975年	主要部材に大きな損傷はなく、道路橋の機能に支障が生じていないと判断できるため、判定区分Ⅰと評価した。前回点検時に確認できた、路面の凹凸は補修が行われていた。
6	55	おおさきこせんきょう 大崎誇線橋	498	三本松文化通線 (大崎町仮宿)	Ⅱ	11.0 m	5.9 m (6.5 m)	1970年	床版に漏水・遊離石灰、橋台前面の擁壁に10mm程度の開きが確認できた。現時点では道路橋の機能に支障は生じていない。ただし、今後損傷が進行すると道路橋の機能に支障が生じるため、予防保全の観点よりひび割れ補修工等の処置を講ずることが望ましいと判断し、藩邸区部Ⅱと評価した。
7	56	やまさきこどうきょう 山崎誇道橋	436	水之谷平房線 (大崎町野方)	Ⅰ	44.0 m	5.0 m (6.0 m)	2010年	主要部材に大きな損傷はなく、道路橋の機能に支障が生じていないと判断できるため、判定区分Ⅰと評価した。
8	65	たなかはし 田中橋	320	田中飯隈線 (大崎町井俣)	Ⅰ	35.1 m (9.5 m)	4.0 m (4.7 m)	1967年 (2022年)	令和4年度にP2-A2径間のみ架替えを実施した橋梁である。主要部材に大きな損傷はなく、道路橋の機能に支障が生じていないと判断できるため、判定区分Ⅰと評価した。なお、橋脚に堆積している流木は維持管理で対応することが望ましい。
9	66	いいくまはし 飯隈橋	203	堂地飯隈線 (大崎町神領)	Ⅰ	37.9 m	4.0 m (5.2 m)	2022年	令和4年度に架替えを実施した橋梁である。主要部材に大きな損傷はなく、道路橋の機能に支障が生じていないと判断できるため、判定区分Ⅰと評価した。

《判定区分》 Ⅰ：健全 Ⅱ：予防保全段階 Ⅲ：早期措置段階 Ⅳ：緊急措置段階  
 ※点検要領：道路橋定期点検要領（平成31年3月国土交通省道路局国道・技術課）